

# トリニダード・トバゴ どんな国？

カリブ群島の南端に位置する島国で、アマゾン生態系の自然に恵まれたトリニダード島とエメラルドグリーン海とサンゴ礁が美しいトバゴ島の2つからなる国。人口約130万人。主要産業は、エネルギー産業（石油、天然ガス、メタノールなど）、鉄鋼製品など。



## ごみ問題の現状

缶、瓶、ペットボトルの回収を民間企業がおこなっています。国内には埋立処分場（最終処理場）が4つあり、年間約70万トン発生する固形廃棄物のうち95%が運び込まれています。年々ごみの量は増えており、残余年数が逼迫し、喫緊の課題となっています。具体的な政策がおこなわれておらず、埋立処分場ではときどき火災が発生しています。



## 大崎中学校で分別見学・体験

給食を食べた後、牛乳パックの分別を体験しました。また、職員室前に設置された分別ステーションなどで、生徒の取り組みを見学しました。

しっかりと分別が身につき、生徒が自分たちで行動に移していることに感銘を受けました。若者が将来この環境問題を考え取り組んでいく立場なので、若者に対して力を入れていることが、素晴らしいです。子どもたちには辛抱強く教えなければ、このようには規律を守れないので、先生たちも称賛したい。



開く工程に苦戦



このほか、そおりサイクルセンターや集落のごみステーションなどを見学し、視察最終日には、視察団が同国の実情を踏まえた今後の具体的な取り組みについて話し合い、東町長に発表しました。

## 視察団からのメッセージ

我が国の廃棄物管理環境に関する政策は、現状に追いついていません。土地がない私たち島国にとって、廃棄物処理は重要な課題です。現在、3年間かけて政策を練り直す作業をしています。この時期に、大崎町で学ぶことができとても良いタイミングでした。住民・企業・行政で手を取り合い、この美しい大崎町をつくっていることに感銘を受けました。大崎町のような取り組みを始めることは、難しいことだと思いますが、できることから一歩踏み出したいと思います。大崎リサイクルシステムのような素晴らしい制度ができたらと思っています。私たちの取り組みを見守ってください。

これまで町民の皆さんと共に取り組んできたリサイクル。この取り組みを共有することで、問題を抱えている遠い地域で解決策の糸口となるよう願っています。ホストタウンで繋がったご縁を大切に、今後も交流を進めてまいります。